

「花粉症対策 初期集中対応パッケージ」の進捗状況① 「発生源対策」

< 初期集中対応パッケージ (令5.10.11) >

●スギ人工林の伐採・植替え等の加速化【林野庁】

本年度中に**重点的に伐採・植替え等を実施する区域を設定**し、次の取組を実施

- ・スギ人工林の**伐採・植替えの一貫作業**の推進
- ・伐採・植替えに必要な**路網整備**の推進
- ・意欲ある林業経営体への**森林の集約化**の促進

●スギ人工林の伐採・植替え等の加速化

- ・令和6年2月に「**スギ人工林伐採重点区域**」(注)を都道府県において設定済。(注)県庁所在地等から50km圏内のまとまったスギ人工林のある区域等を設定
- ・令和15年度までに花粉発生源のスギ人工林の伐採面積を年間2,000haずつ増加を目指す中、令和6年度の実施事業では、木材の搬出などの**条件が不利な森林等の伐採・植替え**のため**930ha**を支援。※

●スギ材需要の拡大【林野庁・国土交通省】

- ・木材利用をしやすくする改正**建築基準法の円滑な施行**(令和6年4月施行予定)
- ・本年中を目処に、国産材を活用した**住宅に係る表示制度を構築**
- ・本年中を目処に、**住宅生産者の国産材使用状況等を公表**
- ・建築物への**スギ材利用の機運の醸成**、住宅分野における**スギ材への転換促進**
- ・大規模・高効率の**集成材工場、保管施設等の整備支援**

●スギ材需要の拡大

- ・令和6年4月に、木材利用をしやすくする**改正建築基準法及びその詳細基準を施行**。同年に、**建築事業者等への説明会を実施**。
- ・令和6年3月から、国産材を活用した住宅に係る表示制度「**国産木材活用住宅ラベル**」の運用を開始。
- ・令和5年12月から、業界団体のWebサイトにて、**住宅生産者の国産材使用状況等を公表**。令和7年4月末までに情報を更新予定。
- ・令和6年度の実施事業では、①令和15年度までにスギ材製品の需要を年間47万m³ずつ増加を目指す中、**年間利用可能量約49万m³分のスギ製材工場等の整備**を支援、②スギ材を活用したハイブリッドLVL、圧密木質部材の**技術開発**を支援、③中小工務店等に対して**スギJAS構造材等の調達に係る調整経費等**を支援、④建築物への**スギ材利用の機運を醸成**するため、イベントでスギ材製品等を展示。※

●花粉の少ない苗木の生産拡大【林野庁】

- ・国立研究開発法人森林研究・整備機構における**原種増産施設の整備支援**
- ・都道府県における**採種園・採穂園の整備支援**
- ・民間事業者による**コンテナ苗増産施設の整備支援**
- ・スギの未熟種子から花粉の少ない**苗木を大量増産する技術開発支援**

●花粉の少ない苗木の生産拡大

- ・令和6年度の実施事業では、**花粉の少ない苗木の年間供給可能量約300万本分の施設整備**を支援(①**原種増産施設の整備完了**、②**採種園・採穂園の整備**、③**コンテナ苗生産施設の整備**)。細胞増殖による**苗木大量増産技術の開発等**を支援。※

●林業の生産性向上及び労働力の確保【林野庁】

- ・意欲ある木材加工業者、木材加工業者と連携した**素材生産者等に対する高性能林業機械の導入支援**
- ・農業・建設業等の**他産業**、施業適期の異なる**他地域**や**地域おこし協力隊**との連携の推進
- ・**外国人材**の受入れ拡大

●林業の生産性向上及び労働力の確保

- ・令和6年度の実施事業では、意欲ある木材加工業者等による**高性能林業機械の導入**や**地域間・産業間の連携による労働力確保**の取組を支援。**外国人材**の受入れ拡大の取組を推進。※

※ 令和6年度実施事業による取組は、令和7年1月時点の見込み

「花粉症対策 初期集中対応パッケージ」の進捗状況② 「飛散対策」

<初期集中対応パッケージ（令5.10.11）>

●スギ花粉飛散量の予測

来年の花粉飛散時期には、より精度が高く、分かりやすい花粉飛散予測が国民に提供されるよう、次の取組を実施

- ・今秋に実施するスギ雄花**花芽調査**において民間事業者へ提供する**情報を詳細化**するとともに、12月第4週に調査結果を公表【環境省・林野庁】
- ・引き続き、航空レーザー計測による**森林資源情報の高度化**、及び、その**データの公開**を推進【林野庁】
- ・飛散が本格化する3月上旬には、スーパーコンピューターやAIを活用した、花粉飛散予測に特化した詳細な**三次元の気象情報を提供**できるよう、クラウド等を整備中【気象庁】
- ・本年中に、**花粉飛散量の標準的な表示ランクを設定**し、来年の花粉飛散時期には、この表示ランクに基づき国民に情報提供されるよう**周知**【環境省】

●スギ花粉の飛散防止

- ・引き続き、森林現場におけるスギ花粉の**飛散防止剤の実証試験・環境影響調査**を実施【林野庁】

●スギ花粉飛散量の予測

- ・スギ雄花**花芽調査**において、**令和6年度より調査対象都道府県を全国（生育するスギの少ない沖縄県を除く46都道府県）に拡大**。
- ・民間事業者等が実施する花粉飛散量の予測を支援するため、調査地点の**提供情報を詳細化**。
- ・スギ雄花花芽調査結果を令和6年12月26日に公表。合わせて、スギ・ヒノキ花粉実測調査調査結果を同日に公表。
- ・**令和6年度中に、新たに3県で森林資源情報を公開**する見通し。引き続き、公開拡大に向け関係自治体との調整を推進。
- ・令和6年度の実施事業において航空レーザー計測による森林資源情報の高度化を促進。※
- ・**令和6年3月**、クラウド環境にて、花粉飛散予測に特化した**詳細な三次元の気象情報の提供を開始**。
- ・**令和5年度に、花粉飛散量の標準的な表示ランクを設定**し、花粉飛散量の予測を行う**民間事業者において活用中**。更なる活用が進むよう引き続き周知。

●スギ花粉の飛散防止

- ・**令和6年度の実施事業では、令和10年度までに飛散防止剤の実用化（農薬登録）の目処を立てることを目指し、薬剤ごとに、ドローン・有人ヘリによる散布試験や、空中散布技術、森林生態系への影響評価手法等の開発**を実施。※

※ 令和6年度実施事業による取組は、令和7年1月時点の見込み

「花粉症対策 初期集中対応パッケージ」の進捗状況③ 「発症・曝露対策」

< 初期集中対応パッケージ（令5.10.11） >

●花粉症の治療

- ・花粉飛散時期の前に、関係学会と連携して**診療ガイドラインを改訂**【厚生労働省】
- ・**舌下免疫療法治療薬**について、まずは**2025年からの倍増（25万人分→50万人分）**に向け、森林組合等の協力による**原料の確保や増産体制の構築等**の取組を推進中【厚生労働省・林野庁】
- ・花粉飛散時期の前に、飛散開始に合わせた**早めの対症療法の開始が有効**であることを周知
- ・患者の状況等に合わせて医師の判断により行う、**長期処方や令和4年度診療報酬改定で導入されたりフィル処方**について、前シーズンまでの治療で合う治療薬が分かっているケースや現役世代の通院負担等を踏まえ、**活用を積極的に促進**【厚生労働省】

●花粉症対策製品など

- ・本年中を目処に、**花粉対策に資する商品に関する認証制度**をはじめ、各業界団体と連携した花粉症対策製品の**普及啓発**を実施【経済産業省】
- ・引き続き、**スギ花粉の実用化に向け**、官民で協働した取組の推進を支援【農林水産省】

●予防行動

- ・本年中を目処に、花粉への曝露を軽減するための**花粉症予防行動**について、自治体、関係学会等と連携した**周知**を実施【環境省・厚生労働省】
- ・「**健康経営優良法人認定制度**」の評価項目に従業員の花粉曝露対策を追加することを通じ、**企業による取組**を促進中【経済産業省】

●花粉症の治療

- ・**令和6年1月**、花粉症予防行動等について分かりやすくまとめた**リーフレット**を作成。リーフレットに、**治療に関する最新の知見**を記載。
- ・令和6年3月、関係学会が**診療ガイドライン**を改訂。
- ・**舌下免疫療法治療薬**について、森林組合等の協力を得て**原料採取のための事業体数を増加**させるとともに、治療薬を製造する民間事業者において、**生産能力倍増に向け製造ラインの追加を実施中**。引き続き、増産体制の構築等に向けた取組を促進。
- ・**令和5年12月**、日本アレルギー学会が運営するWebサイト「アレルギーポータル」及び政府広報オンラインにおいて、**早めの対症療法の開始が有効であること等を掲載**。
- ・**令和5年11月**、患者の状況等にに合わせて医師の判断により行う、**長期処方や令和4年度診療報酬改定で導入されたりフィル処方の活用**についての事務連絡を発出し、都道府県等を通じて**医療機関等へ周知**。同12月、「**アレルギーポータル**」及び政府広報オンラインにおいて、**長期処方やリフィル処方の活用について掲載**。

●花粉症対策製品など

- ・業界団体が推進する、花粉曝露対策に資する製品を見える化する「**JAPOCマーク**」や**花粉症対策に資する産業界の取組**について、各業界団体と連携して**周知**。
令和6年2月に一般市民向けの**啓発イベントを開催**するなど、関連業界団体と連携した花粉症対策製品の普及啓発を実施。
- ・令和6年6月、「スギ花粉の実用化に向けた官民連携検討会」において**実用化に向けた課題と解決の方向性を整理**。今後、動物等を用いた作用機序や安全性・有効性のデータを取得。

●予防行動

- ・**令和6年1月**、花粉への曝露を軽減するための**花粉症予防行動**等について分かりやすくまとめた**リーフレット**を作成（再掲）。**令和6年2月及び令和7年1月に**、自治体、関係学会等と連携して広く周知。
- ・令和5年度の「**健康経営優良法人認定制度**」の認定から、評価項目に従業員の花粉曝露対策を追加することを通じ、**企業による取組を促進**。